

広報

# もり 中部の森林



写真：「立山のライチョウ」(富山署管内)

私の森語り「暮らしの中に無垢の木の心地よさをお届けする」  
KAKI CABINET MAKER 柿谷朔郎

## 特集

- ・中部森林管理局の事業概要～令和4年度の取組のポイント～
- ・国有林モニターアンケート結果について

## 各地からの便り

- ・カラマツエリートツリー特定母樹の円滑な普及に向けて

## シリーズ

- ・森林官からの便り、私の森語り、中部の保護林、  
秘蔵写真・今は昔の林業、国有林モニターのご紹介



林野庁中部森林管理局



2022/No.218



主伐時の広葉樹の保残（南木曾支署）

中部森林管理局の事業概要  
（令和4年度の取組のポイント）

【企画調整課】

四月二十六日、令和四年度の中部森林管理局の取組について記者発表を行いました。ここでは、令和四年度の重要な取組や新たな試みについて、ご紹介します。

I 公益的機能の一層の発揮

◇多様な森への誘導

・主伐時の広葉樹の保残等による針広混交林への誘導や、林齢や樹種の異なる小規模な林分がモザイク

ク状に配置された面的複層林への誘導など、多様な森林づくりを推進します。

・適切な伐採方法の選択など、林地保全に配慮した森林施業を推進します。

◇安全・安心への貢献

・令和三年八月の大雨等により被災した森林等の復旧を推進します。

・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の取組として、森林の防災・保水機能を発揮させる間伐等の森林整備、治山施設の整備等による流木・土石流・山腹崩壊防止対策を実施します。

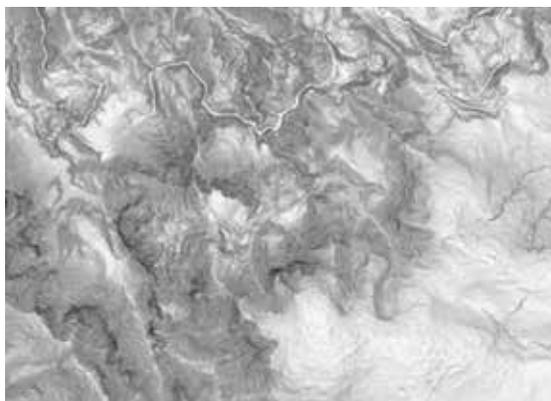
また、地域の実情を踏まえた受注しやすい工種・工法の積極的な検討・採用等を行います。

・大規模な山地災害が発生した際は、県や市町村等とのヘリコプターでの合同調査や森林土木技術者の派遣等により、被災地の早期復旧に向けた支援を行います。

また、現地調査にあたっては、山地災害調査アプリによる被災状況の迅速な把握により、応急対策

等の現場業務の効率化を図ります。

・航空レーザ計測データについては、管内をほぼ整備しており治山事業の計画や森林土木事業での活用を進めています。



航空レーザ計測データから作成した微地形図（北信署管内）

◇ニホンジカ被害対策

・くくりワナの貸し出しによる捕獲の強化やICTを活用したワナ見回りの効率化、請負事業者と猟友会が連携した「ついで見回り・通報」「ついで捕獲」等により、地域ぐるみのニホンジカ対策を推進します。

・ブロックディフェンスを活用した新たな捕獲手法の開発やクマの

錯誤捕獲防止ワナの開発普及など、多面的な被害対策に取り組めます。

II 林業の成長産業化への貢献

◇新しい林業の実現に向けた

コスト削減と生産性向上

・伐採・造林一貫作業システムの推進による主伐・再造林のコスト低減に取り組むほか、さらなる効率化を目指し、伐採から造林初期の保育段階での新技術導入に向けたモデル実証にも取り組めます。



リモート操作による下刈（北信署）

・国産材の安定供給体制の構築に向け、効率的な架線集材の導入など、林業事業者及び民有林関係者



④国木曾ひのき

と連携して丸太の生産性向上に引き続き取り組みます。  
◇木材の安定供給と

需要拡大の推進

・不安定な国際情勢により国産材への需要が高まっていることから、地域の木材需給動向等を民有林と共有しながら、国有林材の安定供給に取り組みます。

・市場からの評価の高い中部局のブランド材である、高齢級で高品質な人工林ヒノキを「④国（まるこ）うまるこく）木曾ひのき」、「④国（まるこ）うまるこく）東濃ひのき」

・木質バイオマス燃料の円滑な供給や造林コストの低減等を目的として枝葉や端材などD材の供給を推進します。



特殊用材の供給  
(妻籠町並み交流センター(南木曾町))

や「段戸SAN」として、また、民有林と連携して「信州プレミアムカラマツ」を積極的に供給します。  
・木材関連機関と連携した木材利用促進のための要請行動の場などを活用して、各種制度を利用した木材利用の働きかけを行います。  
・公共建築物や神社仏閣等の建築に必要となる、特殊な寸法や品質の丸太のニーズを木材市場を通じて情報収集し、供給を行います。

◇民有林との連携

・「森林経営管理制度」の定着に向け、職員による市町村行政への技術的な支援に積極的に取り組むとともに、当局で実施する研修、現地検討会等を通じ、地域のニーズに応じた市町村等民有林における人材育成を支援します。



職員研修（林況調査の実習）

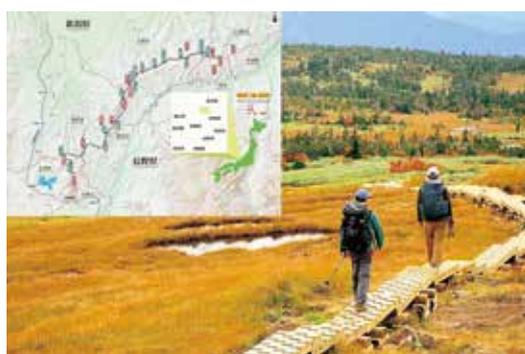
・また、効率的かつ安定的な林業経営の育成を図るため、国有林の一定区域において、公益的機能を確保しつつ、一定期間・安定的に樹木を採取できる権利を設定する「樹木採取権制度」について関係法令に基づき適切な運用に取り組めます。

Ⅲ 「国民の森林」としての管理経営

・「日本美しの森お薦め国有林」の情報発信や環境整備等を実施します。

・「国有林おさんぽMAP」等の情報発信を引き続き行い、国有林を通じた地域の観光振興に取り組めます。

・中部山岳など国有林が国立公園にもなっている地域において、環境省との連携強化に取り組む、優れた自然の保護と利用の両立を目指します。



信越トレイル

※令和4年度中部森林管理局の取組の詳細は、当局ホームページまたは、QRコードを読み込んでください。



### 第三回 国有林モニター アンケート結果について

#### 【企画調整課】

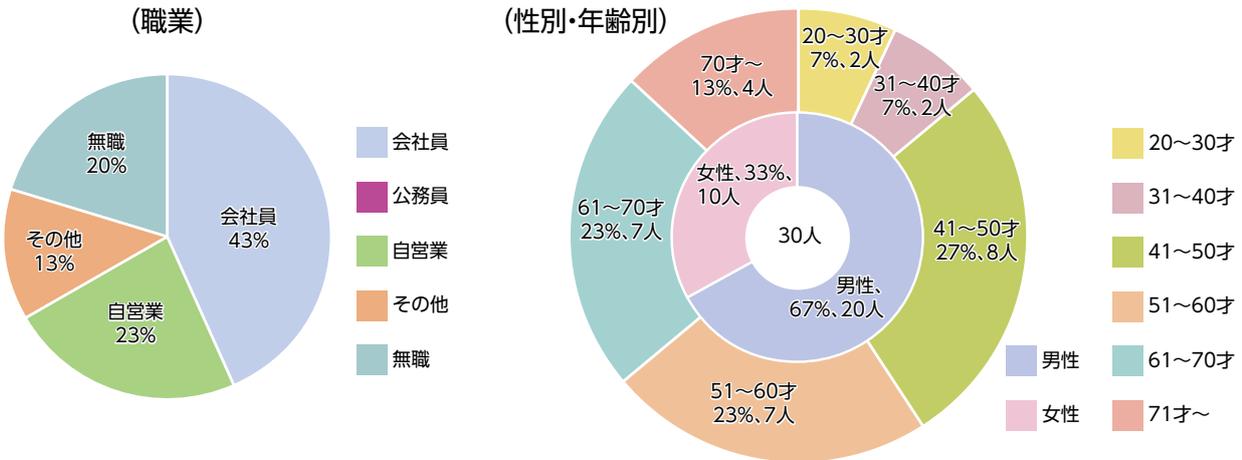
中部森林管理局では、管内（富山県、長野県、岐阜県、愛知県）にお住まいの十八歳以上の方で、森林・林業および国有林に関心をお持ちの一般の方からモニターを募り、国有林に関する資料や広報誌の送付、モニター会議の開催等を通じて、国有林野事業についての理解を深めていただくとともに、モニターの皆様方から幅広いご意見などをいただき、国有林野の管理経営に役立てております。

国有林モニターの任期は二年間で、令和二年四月から令和四年三月までの間、三十名の方に取り組んでいただきました。

コロナ禍のため十分な活動はできませんでしたが、今年三月にモニターアンケートを実施し、ご意見やご感想をお寄せいただきましたのでご紹介いたします。

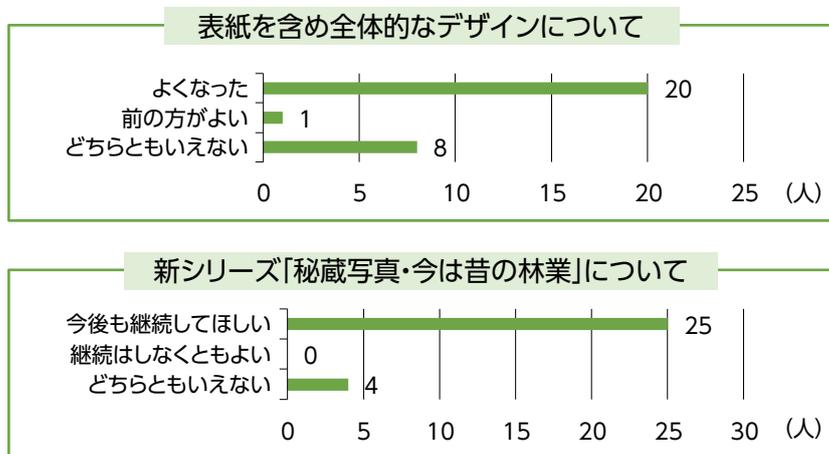


#### ● 国有林モニターの構成



#### ● 情報発信について

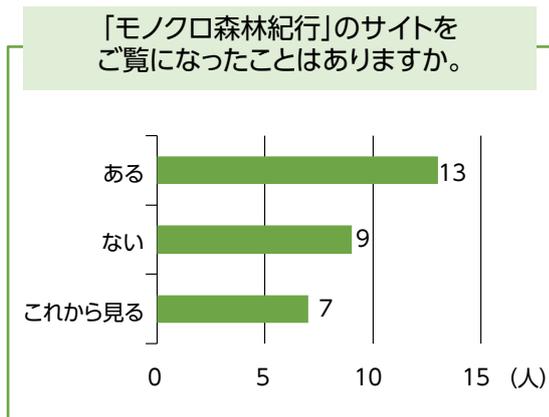
##### 一. 広報「中部の森林」



令和三年度から見やすさを重視するため、紙面を全面リニューアルしたことに対し、「よくなった」とのご意見が約七割、「前の方がよい」「どちらともいえない」とのご意見が約三割でした。

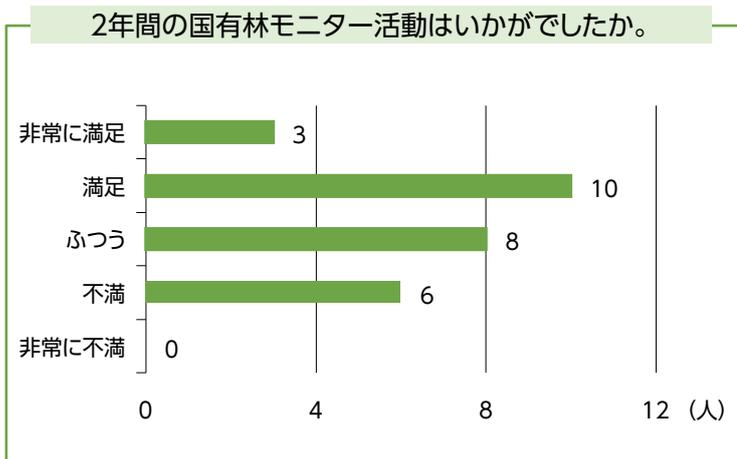
特集記事については、全て読んでいらっしゃる方がほぼ同数でした。また、令和三年度からの新シリーズ「私の森語り」「中部の保護林」「秘蔵写真・今は昔の林業」について今後も継続してほしいとの回答が多数寄せられたことが分かりました。

##### 二. ホームページ



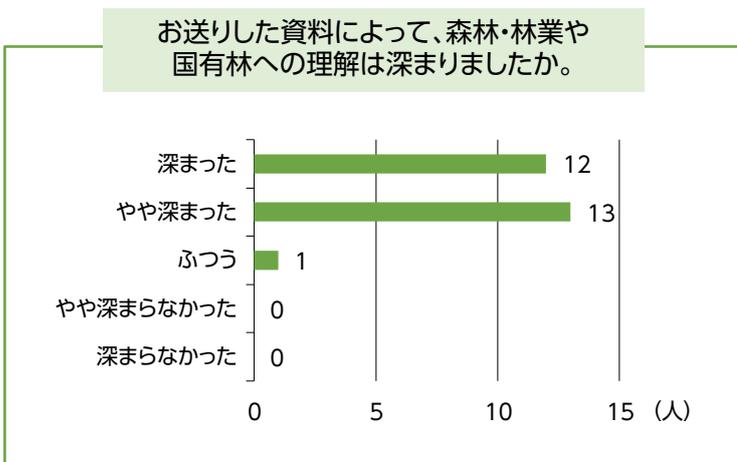
十三名の方にご覧いただき、「後半部分も解説があるとより楽しい」「スマホ向けのサイトもほしい」などのご意見をいただきました。

●国有林モニターの活動について



「非常に満足」の方が三名、「満足」の方が十名、「ふつう」の方が八名、「不満」の方が六名であることが分かりました。

多くの方から、新型コロナウイルス感染症の影響で現地視察が開催されず残念だったとの声が寄せられました。また、毎月の情報提供により、森林・林業についての知識を得ることができたとの感想もいただきました。



毎月お送りしていた資料については、「国有林おさんぽMAP」「樹木と木材の図鑑」に多くの関心が寄せられたことが分かりました。

また、これまでお送りした資料に加えて「レクリエーションの森・日本美しの森 お薦め国有林」についてさらに詳しく知りたいと十五名の方から回答いただきました。

さらに詳しく知りたい分野がありましたら、該当するものに○印をつけてください。(複数回答可)



今回のアンケートを通じて、優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察等に適した国有林である「レクリエーションの森」に対して高い関心があることが分かりました。

また、現地視察を開催することができなかつたため、モニター活動への満足度が低い傾向となりましたが、情報提供でお送りしていた資料については、高い満足度を得ることができました。

そのほか、中部森林管理局の広報活動においても、幅広かつ建設的なご意見を多数いただきました。

お寄せいただいた貴重なご意見を踏まえ、これからも国有林野の管理経営の改善に努めてまいります。

アンケート調査の詳細は、  
中部森林管理局HPで公表  
しています。

当サイトへは、QRコード  
を読み込んでください。



### カラマツエリートツリー特定母樹の円滑な普及に向けて

#### 【技術普及課】

四月十二日、満開の桜で彩られた長野県伊那市の「ますみヶ丘市民の森」において、伊那市主催による「カラマツエリートツリー植樹セレモニー」が開催されました。



セレモニーの様子

これに先立ち、令和四年三月三十一日に、長野県のカラマツ林業の更なる発展を担う新たな品種であるエリートツリーの普及に向

けて、長野県、伊那市及び（国研）森林総合研究所林木育種センターと当局の四者で「カラマツエリートツリー特定母樹の円滑な普及に向けた覚書」を締結しており、そのキックオフイベントとして実施されたものです。

当日は、苗木を提供していただいた林木育種センターの今泉所長からエリートツリーの説明があり、その後、参加した関係者らによりエリートツリー等の苗木九十本が植栽され、日本初となる「カラマツエリートツリー特定母樹の展示林」が誕生しました。

現在、長野県ではこのカラマツエリートツリーの種子を供給するための採種園の整備が進められています。今後この種子から生産される成長に優れた苗木を、造林事業者や苗木生産者の方々に積極的に利用していただけるよう、四者で協働して普及に努めて参ります。



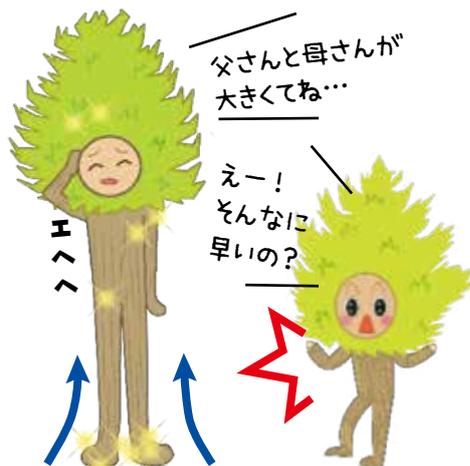
伊那市長によるエリートツリー植樹

#### エリートツリーが担う新しい林業

#### 新しい林業

昨年六月に閣議決定された新たな「森林・林業基本計画」では、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を目指す「新しい林業」を展開することとしています。この新しい林業の中核となるのが、従来の苗木に比べ15倍以上の成長を示すエリートツリー特定母樹を活用した低コスト施業体系の構築です。このエリートツリーの苗木を活用することで、造林や下刈りの費用が大幅に削減されるだけで

なく、木材として収穫できるまでの期間も短縮できます。



より多くの林業関係者に興味を持っていただき、理解を深めていただくために、来年度は、浅間山の国有林にも展示林を造成し、苗木の成長に合わせて現地検討会等を開催していく予定です。

エリートツリー特定母樹の詳細については、こちら（林野庁のホームページ）をご覧ください。



シリーズ

# 森林官からの便り

国有林の現場の最前線で、働く森林官の仕事や、管轄する地域の特色などを紹介します。

【東濃森林管理署西股森林事務所】

森林官 安藤達也

「ヤルワイ ヨイヨイ めでた  
めでたの ヨイ ヨイ 若松様  
ヨオ ヨイヨイ 枝もヤリコノ  
栄える 枝も栄える 葉も茂る  
ヨイヨイ ヨイナラ おたのみ



森林鉄道で運び出される神宮材 (昭和16年)

じゃ エンヤラ ヨイサレヤー  
そりゃ ヨイ ヨイ・・」

山々にこだまする勇壮な歌声は西股森林事務所が所在する岐阜県の付知町に伝わる木遣音頭。名古屋城築城において唄われたものが付知町にも根付き、伊勢神宮用材を送り出す折などに唄われ、岐阜県の無形文化財として付知町木遣保存会により受け継がれています。

当事務所は岐阜県中津川市の北東において、加子母本谷、加子母裏木曾、付知裏木曾の三つの国有林約七千二百ヘクタールと公有林野等官行造林地百二十ヘクタールを管理しています。

管内は伊勢神宮の式年遷宮用材を育ててきた神宮備林をはじめ、樹齢百年以上の木曾ヒノキの森

や、裏木曾県立自然公園に指定された付知自然休養林、ヒノキとサワラの合体木、名古屋城本丸御殿復元用材の伐採式跡地、二代目大ヒノキ（直径百五十四センチメートル、樹高二十六メートル、樹齢千年）など特色ある森林が広がっています。



材の積み込みを確認する筆者

職員は、首席森林官、森林技術員各一名、行政専門員二名の四名で、植付から伐採などの監督業務

のほか、事業と入林者の安全のための林道等整備を中心に各種調査や境界管理などを行っています。この時期は事業も本格化、入山者も増加することから活気づいてきます。夏山繁忙期に向け職員間の風通しをよく、安全な事業実行ができるよう支え合っていく方針です。

## ■未来の担い手へのメッセージ

私たちの暮らしは、自然はもとより多くの恩恵により成り立っています。特に国有林は山奥で、信じられないような場所を森林として作り上げて来られた先人たちの想いを感じることができません。簡単なことではありませんが、その森を活かしながら、よりよい環境と森林資源を後世に残すことが私たち国有林に求められている役割だと思います。一緒に汗を流しませんか？その先に皆さんの、日本の未来が見えてくるかも…。





工場とショールーム兼自宅

■自己紹介  
 富山県東部の立山山麓の山間で育ちました。  
 父と二人の叔父とが起こした「KAKI CABINET MAKER」で無垢材家具を製造販売しています。冬は、スキーを楽しみ、現在は



KAKI CABINET MAKER  
 柿谷 朔郎

「暮らしの中に無垢の木の心地よさをお届けする」

シリーズ

「私の森語り」  
もりかた

森林・林業との関わりの中で、様々な課題に挑戦されている方の取組を紹介します。



「あわすのスキー場」運営にも携わっています。

■活動内容

叔父である(故)柿谷誠が六十年余り前に立山山麓にできた、あわすのスキー場に通い詰め、この土地とそこに暮らす人々に惚れ込み高岡から移り住みました。二人の弟(父の正、叔父の清)が兄を追いかけ共に暮らすようになります。

当時は、小さなスキーロッジとスキースクールを開きました。そのロッジで使う家具が気に入ったものが見つからず、自分達で作ったことが家具作りの原点です。

スキーに訪れるお客様の中に、その家具を気に入ってくださり、制作の依頼を受けるようになります。いくつかの幸運な出会いもあり、家具屋が本業となりました。

欧州の田舎にある松の家具に親しみを感じ、影響を受け松を主材として家具作りを続けています。



スピンドルアームチェア

お客様の暮らしに寄り添い、長く使っていたただける物を作りたいと心がけて、制作に勤しんでいます。

■メッセージ

どれだけ丈夫で壊れにくい物を作っても、不要とされて捨てられてしまつては、長持ちしているとはい言えず、残念なことです。

長く手元に置き、愛着が湧くような家具を作り続けたいと願っています。「KAKI」が家具を作り続けて六十年

余り、今ではメンテナ

ンスの仕事も増えてい

ます。指物技術を使い作られた家



製作40年物メンテナンス後

○連絡先

〒930-1154  
 富山県富山市本宮2-3  
 TEL 076-482-11433  
 FAX 076-481-11627  
 E-mail:kaki@kaki-jp.com  
 http://kaki-jp.com



工場前でスタッフと(前列左から柿谷清、(故)柿谷正、後列左から筆者、高崎哲志)

具は、多少のぐらつきなどは上手に直せばまた蘇り、さらに長く使っていることができます。親から子へ、子から孫へと受け継がれていくような家具が作れたら、これ以上の喜びはないでしょう。



# 硫黄が噴出し生まれた特異な地理

わしぼだけ いおうだけ たかせけいこく  
鷲羽岳・硫黄岳・高瀬渓谷 生物群集保護林

## 設定目的

本保護林は鷲羽岳（2,924m）の南・東斜面と真砂岳（2,862m）の南斜面に位置し、亜高山帯に至る高山草原、低木群落等の原生的な植生を保護しています。

また、硫黄岳（2,554m）と赤岳（2,416m）を結ぶ硫黄尾根の北斜面は、硫黄噴出の影響等により全山にわたって植生がほとんどない状況となっており、特異な地理となっています。

## 地況・林況

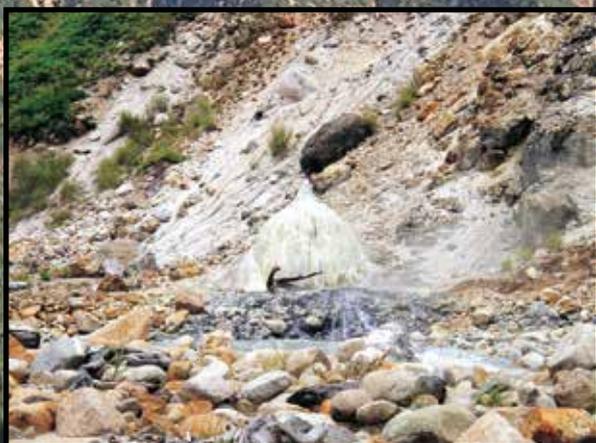
信濃川の源流の一つである湯俣川左岸（北側）から鷲羽岳に至る斜面に位置し、湯俣川左岸はカラマツ、キタゴヨウ、コメツガ等から構成される亜高山帯針葉樹林及び高山帯の原生的な植生となっています。硫黄岳の北斜面の上部にはダケカンバ群落、下部にはコメツガ、シラビソ、オオシラビソ、クロベ等の亜高山帯針葉樹林が広がっています。硫黄岳西側は植生が少なく裸地化しており、崖壁・岩隙植物群落となっています。

湯俣川には、石灰華を主体とする温泉沈殿物が河床に堆積し小さな火山のような形をした噴湯丘ができており、中央の湧き口に白い豆粒状の球状石灰石ができる珍しい現象が見られることから、国の天然記念物「高瀬渓谷の噴湯丘と球状石灰石」に指定されています。噴湯丘の周囲は、コメツガを主体とする針葉樹林です。

所在地  
長野県大町市



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載しておりません。



天然記念物  
高瀬渓谷の噴湯丘

シリーズ

中部の保護林(第13回)

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。

シリーズ

秘蔵写真

# 今は昔の林業

第13回

中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともに紹介します。

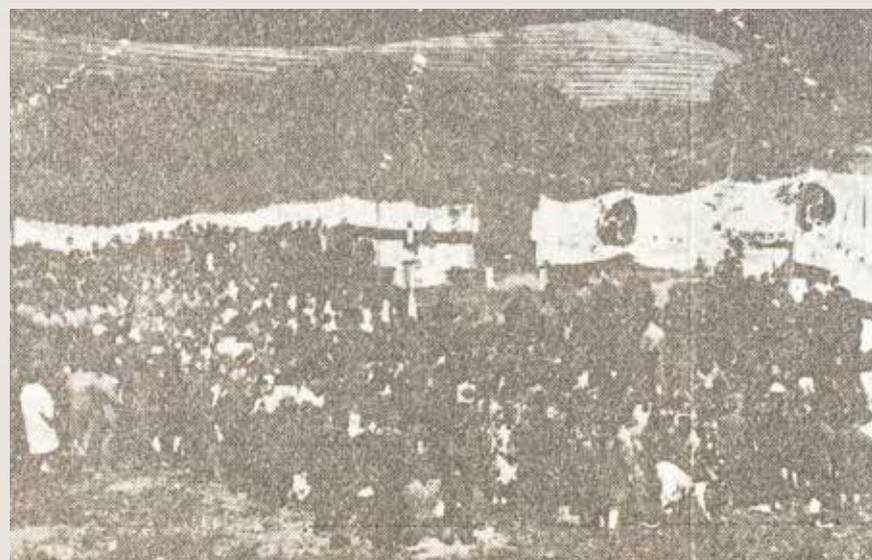
## 「愛林日」

四月十五日から五月十四日は「みどりの月間」となっており、「緑の募金」運動などが行われています(平成十八年より)。戦前にもこれと似た行事「愛林日」というものがありました。

愛林日のパンフレットより(昭和九年)



愛林日は大日本山林会(社団法人)や農林省によって全国的な植樹運動の日として提唱され、昭和九年より実施されました。期間は四月二日から四日で、これは当時の祝日であった神武天皇祭(四月三日)を中心とした日程であったためのようです。愛林日の起源となった行事は更に古



岐阜県稲葉郡蘇原村(現在の各務原市)での植樹祭の様子(昭和8年頃)

く、明治三十一年にはアメリカの植樹運動に影響を受けて提唱された「植栽日」というものがあつたそうです。

中部森林管理局に残されている昭和九年の岐

岐阜でのパンフレットによれば、愛林日には林業に関する講演会、植樹行事、記念樹の植栽、野鳥の繁殖のための巣箱設置、苗木の配布などが行われていたようです。この時代に森林愛護が叫ばれていたということは、既に荒廃した森林が少なくなかったということでもあります。

愛林日のパンフレットより(昭和九年)



愛林日は戦時中に中断されましたが、終戦後に再開され、植樹行事については昭和二十五年から「全国植樹祭」に引き継がれることとなります。

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。  
当サイトへは、QRコードを読み込んでください。



### 国有林モニターのご紹介



はやし かずし  
林 和志  
(岐阜県)

#### ◇自己PR：(趣味や特技など)

本を書くこと。散歩。

#### ◇国有林モニターに

##### 応募いただいた理由

最近、糖尿病になり運動療法として1日に数十キロを歩いています。岐阜は、市街地を離れると山です。その中には、多くの国有林があります。岐阜市のシンボルである自然豊かな金華山は国有林です。故郷は国有林や林野庁の整備事業によって森が守られていること、また、整備が不十分な林野も散歩中に目にいたしました。そこで、林野行政の勉強をさせていただきたくこの度、応募させていただきます。

#### ◇国有林に期待すること

以前、本省で林野庁の方から「国産材が高いと言われていたが関税をかければ外国材と値段差はほとんどない。世間で考えられているよりも、国産材と外国産の木材の値段差は大きくない」という趣旨のことを言われ驚いたことを覚えています。紆余曲折があり、国有林特別会計が一般会計化し、林野庁は三千億円の会計規模でカーボンニュートラル化などの売るだけの国有林事業から、環境保全、観光型の欧州のように公共財化されています。今後は、高齢化などで後継者不足になった手入れ不足の人工林の整備を充実させていくことで公共財としての国有林を整備していくこと、また杉、ヒノキの花粉に対する植林批判が大きいように感じますので、世論の幅広いご理解をいただいて花粉量の少ない杉、ヒノキへの林野行政への予算増額を期待しております。

#### ※写真は「金華山」

岐阜署管内の国有林です。

### 四県同時記者発表

四月二十六日、「令和四年度中部森林管理局の取組」について、管内の各会場(局、名古屋事務所、富山署、岐阜署)にて記者発表を行いました。

長野県の会場である局大会議室では上局長より取組の説明を行い、報道各社の方々から木材供給やシカ対策等に対するご質問をいただきました。

今後も、このような機会や広報誌等で中部森林管理局の取組などを紹介することを通じて、国有林野事業に対する地域の皆様のご理解をいただきますながら、各種取組を進めて参ります。



記者発表の様子(局大会議室)

### 編集長だより

(中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、[migoro@maff.go.jp](mailto:migoro@maff.go.jp)まで電子メールでお送りください。)

今年の「雪の大谷」の壁は例年よりも高いらしいよ。立山黒部アルペンルートが開通したら見に行こうと息子を誘い、4月17日(日)に立山室堂平まで行って来ました。

朝7時過ぎに長野市内の自宅を車で出発し、大町市の扇沢駅から電気バスやロープウェイなどを乗り継ぎ、約3時間後に到着した標高2450mの立山室堂平は快晴で、一面の銀世界。高さ18mの巨大な雪の壁と上空に広がる青い空。ちょっとした小旅行で心が洗われる時間を過ごしました。

昼食後、時間があつたので「みくりが池」まで散策することに。そして出会ったのです、表紙のライチョウに!!!真っ白な雌のライチョウと一緒に行動し、様子を見守る人や多くのカメラマンに囲まれても逃げず、慌てず、まさにみんなのアイドルでした。

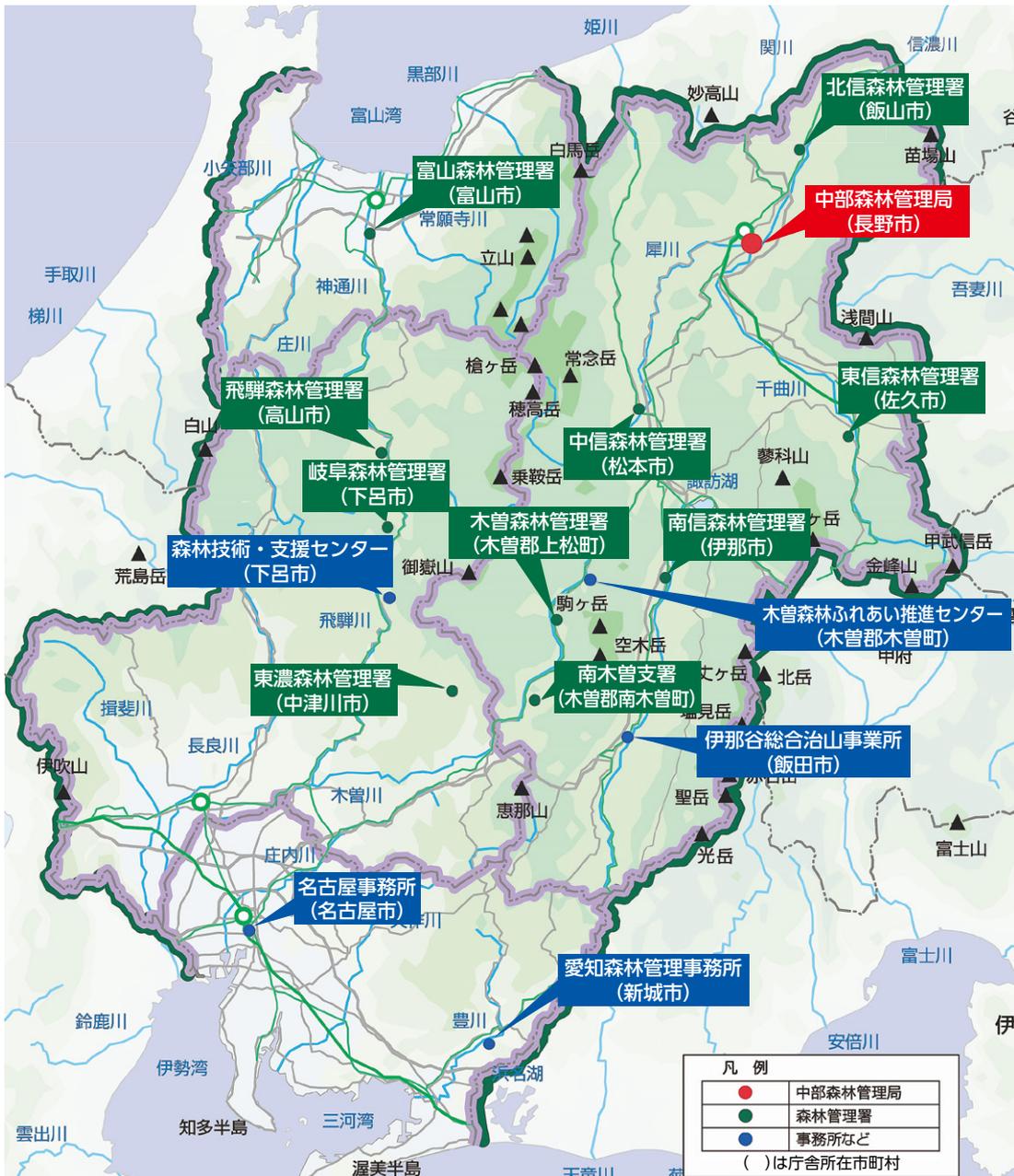
国有林には、「日本美しの森」に選定されている箇所をはじめ、大自然や感動を味わえる場所が数多くあります。これからも広報誌やホームページなどでご紹介させていただきますので、ぜひ、お楽しみください。



日本美しの森への入場ゲートは、左のQRコードを読み込んでください。



にゅうかさしづげん  
44. 「入笠湿原」(南信署管内)



中部森林管理局のホームページ等へのアクセスは、以下のQRコードを読み込んでください。



中部森林管理局ホームページ



広報「中部の森林」



用語の解説  
本誌文中に掲載している主な専門用語・業界用語を解説。

凡例

<span style="color: red;">●</span>	中部森林管理局
<span style="color: green;">●</span>	森林管理署
<span style="color: blue;">●</span>	事務所など
( )	庁舎所在市町村

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曽支署	〒399-5301	長野県木曽郡南木曽町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149

発行：林野庁 中部森林管理局  
編集：総務課 広報  
〒380-8575 長野県長野市栗田 715-5  
電話：026-236-2531  
FAX：026-236-2733  
<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

メールマガジンに登録いただくと、広報「中部の森林」を発行日と同時にデジタル版を毎月配信します。  
(毎月10日発行※編集の都合で、発行日が遅れることもあります)  
登録サイト <https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>  
または、右のQRコードを読み込んでください。



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。